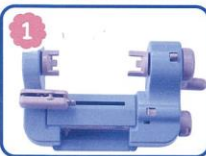


ポンポンの作り方

とかげのポンポンの作り方を説明します。
最初に巻く毛糸を「毛糸 A」、
もう片方の毛糸を「毛糸 B」として説明します。

ポンポンプレートをセットする

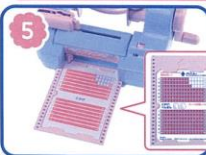


本体の左右の回転軸の凹部に上向けます。



ポンポンプレートの向き
右側に凸

カートリッジを入れる



カートリッジに作りたいポンポンの
お手本シートをセットします。
カートリッジの矢印の方向に合わせ、
差し込み口に奥までセットします。

毛糸の色を替える



切った毛糸はガイドの右端の溝に
差し込みます。



結んだ毛糸 B をガイド、テンションの
側で通します。ハンドルを矢印の方向
にまわし、巻き進めます。

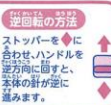
セット
内容で
しろくまとかげ
アルファベットが
つくれるよ!



※セット内容の毛糸を使用して、しろくまとかげはポンポン(大)、アルファベットはポンポン(小)が作れます。
その他のポンポンを作る時は、市販の毛糸(中細タイプ)をご使用ください。



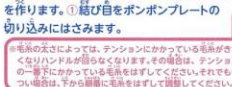
送り窓の針の位置
送り窓の針が 1 側にある
時は左から右に読みます。
送り窓の針が 2 側にある
時は右から左に読みます。



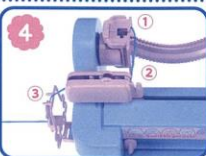
送り窓の針の位置
送り窓の針が 1 側にある
時は左から右に読みます。
送り窓の針が 2 側にある
時は右から左に読みます。



毛糸の端から 5cm くらいところに結び目
を作ります。① 結び目をポンポンプレートの
切り込みにはさみます。



毛糸の太さによっては、テンションにかかっている毛糸がきつ
くなりハンドルが回らなくなります。その場合は、テンション
の一手でかかっている毛糸をはずしてかきとってください。
つき場合は、下から順番に毛糸をはずして調整してください。



ガイド ③ テンションの側で毛糸を通します。



テンションの通し方
ガイドの通し方



ハンドルを正回転方向にまわすと、ポンポン
プレートに毛糸 A が左から右の方向に巻か
れます。② 正回転でポンポンプレートが回転しない場合は
毛糸が引っかかっているか確認してください。



お手本シートでマス目の色が変わる位置
に針がきたら、ハンドルをまわすのを止め
ます。毛糸 A をガイドの左端で切ります。

2つ目のポンポンプレートの作り方



2つ目のポンポンプレートを本体に差し
込み、③と同様にポンポンプレートの
右側の切り込みに結び目はさみ、①〜
③の順で毛糸をセットします。



送りダイヤルを矢印の方向に 3 回まわし、
カートリッジを送ります。本体の針は右
端、送り窓の針は 1 側にあることを確認
します。



ハンドルをまわすと、ポンポンプレートに
毛糸 A が右から左の向きに巻かれていき
ます。1つ目のポンポンプレートと同様に
7段目の終わりで巻きます。



2つ目のポンポンプレートが巻き終わつた
ら毛糸を切り、本体からポンポンプレートを
取り外します。送りダイヤルを矢印の方向に
まわし続け、カートリッジを取り出します。

ポンポンプレートを合わせる



巻き終わった 2つのポンポンプレートを
写真のように持ちます。
※方向を間違えないでね!



溝に沿わせるように、2つのポンポン
プレートを矢印の方向に「カチッ」と
音がするまでスライドさせます。

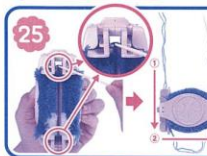


2つのポンポンプレートが合体しました。

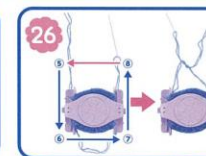


合体したポンポンプレートの左右に
ポンポンプレートカバーを取り付け、
溝にハサミを入れて毛糸を切りま
す。※ハサミを使うときはお取り扱いに
ご注意ください。

ポンポンを結ぶ



ポンポンプレートの両端にある凸の間の穴に
毛糸のついたとじ針を①〜④の順で通します。



再度ポンポンプレートの両端の線間に
とじ針を⑤〜⑧の順で通し、結びます。



結び終わったらポンポンプレートカバーを
外します。



ポンポンの形を整える



毛糸のくずを入れる紙や容器を準備します。
はみ出した毛糸をハサミで切ります。



ある程度切りそろえたらポンポンプレートを
外します。



取り扱い説明書の 4 ページの 패턴を
別の紙に写し、パターンに合わせてハサミ
で整えます。



柄の部分を整えてからフェルトシートを
貼ります。
※セット内容以外のポンポンはフェルトシ
ートを両面テープで貼るときれいに仕上がります。

フェルトシートを貼る

フェルトシートを台紙からはがし、
取り扱い説明書の 4 ページを参考に
各パーツをポンポンに貼り付けます。

